

これがオススメ! 読み聞かせ本

低学年

読み聞かせの効果が広く知られるようになり、読み聞かせについての本やブックリストもたくさん出ています。しかし、実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

「見た」とある！」
と早くも声上がる。ページをめくって読み語るたびに大きな笑いと歓声が起きて、みんな集中。（読み始めの直前まで取っ組み合っていた二人も話の展開に引き込まれていくよ）
「もっちゃん もっちゃん もうもっちゃん」とページをめくるたびの言葉の繰り返しと共に、聞いている子どもたちの、早く主人公にトイレでおしっこをさせてあげたくて

「早くも声上がる。ページをめくって読み語るたびに大きな笑いと歓声が起きて、みんな集中。（読み始めの直前まで取っ組み合っていた二人も話の展開に引き込まれていくよ）」
「もっちゃん もっちゃん もうもっちゃん」とページをめくるたびの言葉の繰り返しと共に、聞いている子どもたちの、早く主人公にトイレでおしっこをさせてあげたくて

表紙をかざして子どもたちが聞く態勢になるのを待っている、目ざとい一年生は、
「もっちゃん もっちゃん」と文字を読んでいる。
「その本知ってる！」

たまらない様子が手に取るように語り手にも伝わってくる。それなのに次々と優しい誘いがトイレ行きを阻むのだから！「もっちゃん もっちゃん もうもっちゃん」でみんなの気持ちが高まるに決まっているのだ！主人公がトイレを探す場所がデパートだというところが、この話をより面白くしているのでもある。さあ、最後のオチは一年生にはわかったのだろうか？ちよつと「なんだろう？」という子もいるところもかわいい！



『もっちゃん もっちゃん もう もっちゃん』

土屋富士夫／作・絵
(徳間書店)